

中野区長 田中大輔 殿

平成 25 年 12 月 3 日

公明党議員団  
幹事長 梁川 妙子  
平山 英明  
久保 里香  
小林 秀明  
南 勝彦  
白井 秀史  
小林 善一  
甲田百合子  
木村 広一

## 平成 25 年度 公明党議員団予算要望書

我が国を襲った未曾有の大震災より早くも 1 年 9 カ月が過ぎ去ろうとする中、迷走する政府の対応は、被災地の復興を遅々とした閉塞状況にさえしている。

さらに、経済面での円高、デフレ対策や、国内の景気対策、外交関係の悪化など、国内外に問題を山積させてもいる。

国政が迷走するならば、区民生活と直結する中野区が、断じて区民生活を守るとの覚悟が益々必要となっている。

区においても、財政の非常事態とも言うべき状態が続いており、不透明な景気下、歳入の減少により、歳出構造の見直しが避けられない状態である。

切迫した財政状況にあるからこそ、真に必要な事業を見極め、より効果的かつより効率的な事業執行で、区民の生活安全網を整備しなければならない。

平成 25 年度予算については、特に防災・減災のための施策や、高齢者、障がい者等のための施策に重点を置き、区民の生命と健康を守り、だれもが安全で安心して暮らせる中野とするため、以下の要望項目の実現を強く求めるものである。

## ■予算要望項目

### <防災・減災>

1. 被災者支援システムの導入
2. 応急給水(スタンドパイプ)の配置
3. 街頭消火器の増設と設置場所の広報
4. 商店街への防災行政無線の導入
5. 障害者施設、子ども施設等、二次避難所の運営マニュアル作成
6. 私立保育園・幼稚園への防災用品緊急整備費の補助

### <高齢者・障がい者支援>

7. 緊急通報システム事業の対象者拡大
8. 区有施設等を活用したケア付き高齢者専用賃貸住宅の誘致
9. 成年後見制度の充実(市民後見人の養成)
10. 「障害者雇用に関する協定」の継続、拡充
11. 障害者福祉手当の支給対象拡大(精神障害を対象に)
12. コミュニティソーシャルワーカーの配置
13. オンデマンド交通の研究推進と活用
14. つむぎ相談窓口のプライバシー改善

### <医療・健康>

15. 胃がんハイリスク検診としての、ABC検診実施
16. 使用済み注射針回収費用の増額(容器代+処理費)
17. 骨髄移植ドナー(移植手術関連経費)支援

### <教育・子育て支援>

18. モデル校による連携教育の実施
19. 保育施設へのアポロ園の巡回指導の増加(2か月に1回)
20. 待機児ゼロ対策の推進(区有施設等の積極的活用、家庭福祉員の要件緩和による増員、認可・認証等保育園の誘致推進)
21. 区立幼稚園教室冷房設置

### <区内産業振興、他>

22. 中野駅周辺をはじめ拠点まちづくり地域への公衆無線 LAN 及びソフトの整備
23. 制限付き一般競争入札の継続
24. 中野区独自の原動機付き自転車ナンバープレート交付
25. 中野区・田村市交流事業補助の増額(常葉閉鎖に伴う宿泊費)
26. 商店街街路灯への商業フラッグの推進

## ■平成 24 年度予算で検討中の主な取り組み及び

### 平成 23 年度事業見直し内容についての要望項目

1. 地域スポーツクラブ事業についての、モデル事業の検証及び事業スキームの早期確立。
2. 肺がん検診の継続及び現行の検診方法の見直し。
3. 障害者福祉手当（第二種）について、65歳以上の受給者への支給を継続。